

3月号

第422号

いっしん

令和2年(2020年)

発行：金光教加治木教会 〒899-5213 鹿児島県始良市
加治木町朝日町130発行責任者：矢野文枝 TEL 0995-62-2895 /FAX 020-4665-5653
Mアドレス konko.m.kajiki@ksj.biglobe.ne.jp (HP)http://kajikikon.konjiki.jp/ 《HPはカラーです》

身を守る
道はいずくと
たずねむに
道を守るの
外に道なし
甘木親教会
初代教会長
安武松太郎師神教

教祖様137年 教団独立120年 小倉布教135年 甘木布教116年
安武松太郎大人69年 安武文雄大人25年(式年祭11月23日) 加治木教会布教69年



いろいろなネコチョコできました!



目かくして、お豆をたくさんひろえたかな?



少年少女会

ネコチョコ作り!
節分豆まき!

2月24日(日)

二月二十四日(日)、少年少女会「節分」「ネコチョコ作り」が開かれました。

二月は「節分」の月なので豆まきについての食育紙芝居、また、バレンタインの月でもあるのでステキな芸術性あふれるチョコレート作りを体験してもらいました。

み教えでは、天地のお恵みである食物をありがたく頂くこと、「まめ」とは「健康」を意味することで当たり前の「健康」をシッカリお礼申し祈ること、食育紙芝居で泣きむし鬼・おこりんぼ鬼・ねぼすけ鬼を豆まきで心の中から追すことを勉強しました。

この日の歌ゲームはもちろん「鬼のパンツ!」でした。
やわらかくなったチョコレートに、カラフルなトッピングをして芸術的なチョコレートがたくさんできましたね。

チョコレートをお家に持って帰っていただく時や食事の時間に、閉会儀礼での約束「食事訓をとなえましょう!」ができたでしょうか?

甘木親教会

報徳祭

ならびに

初代・二代教会長例年祭

二月十七日

この冬は、暖冬のまま終わるかと思われていた二月十七日(月)、九州に初雪が降る中、甘木親教会において、報徳祭ならびに初代・二代教会長例年祭が伝えられました。

尊い偲びの教話がありましたので要点を掲載させていただきます。

《偲びの講話》

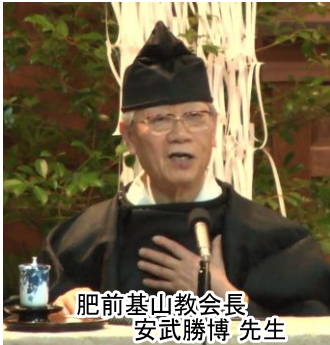
本講要点

安武 勝博 先生(肥前基山教会長)

【祖父の枕頭で出ない涙】

甘木教会の初代は、私が中学一年、十三才の時に亡くなられ、六十九年になります。

昭和二十六年二月四日、午前中の授業中に、突然職員室に呼び出さ



肥前基山教会長
安武勝博先生

れ、姉と一緒に「お祖父様が亡くなられたのですぐに甘木の方に帰りなさい」とのことで、甘木教会へ帰り初代のご遺体の枕頭に行きました。

初代の周りには出社教会の先生方がおられ、姉と私が枕頭に行きますと、姉は涙を流して泣き出しましたが、私は涙も出さず困りました。

それは、私が初代からどれほどのことをしていたか知らなかったからです。

「知らないということは仕方がない」と教えていただく通りです。

神様のおかげを知らない、お礼の申しようがないのと同じです。

大人になって、母が克明に書き残してくれた、一才から七才までのことを読みました。

特に、一才三ヶ月の時に大病をして、父は戦地に征って不在

であった筑紫本郷教会に、初代が来てお医者さんの手伝いをして下さったという事なのです。

そういうことを私は、まったく知りませんでした。

【私を叩き直して下さった】

二代は、軍隊で仕込まれてありました。

私は母からも「そげなことでは五尺の身の置きどころがなくなるバイ」と言われるほどでした。

そのような私の性根を、二代、師匠は、叩き直して下さいました。

師匠は三十八才、私は二十六才で、三年間修行生でお世話になりました。

祇園様の山笠の時、一番心配な私を出されるのです。

法被を着て赤禪を絞めて朝から、神輿を曳きに行くのです。

途中、寄る家ごとに出されるお神酒をこれ幸いと頂くのです。

私がいつまでも教会に帰って来ないので、後にホノルル教会に御用に行かれた芳野先生を迎えに遣られましたが「ミイラ取りがミイラになる」ということでした。

夜遅く、一緒に教会に帰り着きますと、玄關に師匠が仁王立ちになって待っておられました。私が代表で殴られました。

翌朝、顔が痛いので鏡を見ると、

顎が下駄のように腫れているのを鏡で見て、ようやく思い出したようなことでした。

しかし、どういう意味で殴られたのか分かっていました。

【なり代わってお詫び
お礼申して下さいました】

三年の修行生生活の後、三十八才で、二十才の家内と結婚して、肥前基山教会(佐賀県)に布教に出ました。教会布教の御用がいつまでもてるか(続くか)わからない、心配される私でありました。

ずっと後になり、三十年ほど前に私が修徳殿の補導の御用をさせていただくようになり、同じ佐賀県で補導の御用をしておられた、浜崎教会の寺井祥一先生と一緒に新幹線で帰っている時、寺井先生が「甘木の親先生は立派な先生ですね、先生の教会の記念祭の直会で、父と一緒に席まで挨拶に行きますと、父が座る前に座布団を飛ばして、頭を低くして挨拶されました」と話されるのです。その瞬間私は声が出なくなりました。

私の知らないところで、師匠は、不肖の弟子になり代わって、お詫び申し、お礼申して下さいましたことを初めて知ったのです。

「五尺の身の置きどころがなくなる」ような私を、ようもようも修行生として引き受け、幾度も幾度も進むべき道へ方向付けをして下さったと思われてなりません。

前講要点

桑野 明 先生(野上教会長)

【挨拶に来んじやったな、それは私の事じゃー!】

甘木教会で修行させていた日田教会の出社の野上教会大分県九重町で御用させていただいて四十年になります。

日田教会の出社教会の先生から

「甘木教会の

二代親先生から頂かれたみ教えを聞かせて下さい」と言われることが



野上教会長 桑野 明 先生

ありますが、叱られることばかりで、教えを書き留めるようなことはあまりしていません。

しかし、今でも夢で叱られ教えていただくことがあり、最近も、夢で教えていただいたことでもあります。

平成二十九年九州北部豪雨で、朝倉市から日田市にかけての大雨で、日田教会の出社教会であります大鶴教会は、二メートルの浸水で、後の床下に溜まった泥のかき出し作業に、私も延べ二十日ほど行かせていただきました。

平成三十年一月二日の、日田教会の年頭参拝の折、お直会で大鶴教会の江田道孝先生に「正月二日の初夢に甘木教会の二代親先生が出て来られました。ご神前の大戸を開ける御用をしておりますと『お前は挨拶に来んじやったな』と叱られました。」とお話ししました。

甘木教会の修行生は、御用の初めと終わりに必ず親先生の所に挨拶に行くことになっております。

すると江田先生は「それは私の事

じゃ」と言われるのです。

「去年の水書で多くの方々から、励ましとご祈念を頂き、甘木教会からも大変なそういうご祈念を頂いているが、まだご挨拶に行っていない」とのことでした。

間もなく甘木教会にご挨拶に行かれたそうです。

後日お話しになられるところによりますと、江田先生がご挨拶に行かれると、帰りには江田先生が身を寄せられておられた娘さんの嫁がれた教会まで車で送っていただきお昼まで頂かせていただいたと喜んでおりました。

【汚れたそのままでもー！】

もうひとつ、夢の中で、二代親先生から「お前は挨拶に来んじやったな」と叱られたことがありました。

大鶴教会に泥かきに行きますと大変汚れます。夢の中で、汚れたまま野上教会に帰り着いた時に、二代親先生が野上教会に来られたのです。

汚れた作業服の泥を筋向いの川で洗い流して洗濯機に入れて、浴衣に



平成29年7月14日
浸水10日後の大鶴教会



大鶴教会で泥出し作業中の
野上教会長
桑野明先生(左)
→
鹿児島地方からも
救援活動に参加
平成29年7月14日

着替えて、お仏前でお礼をして、ご挨拶に行ったのですが「汚れたそのままの姿でも良いから、すぐに挨拶に来んか！」と叱られました。
取次の働きでもあろうかと思いましたが、それほど教え子をかわいがつて下さり「そのような御用姿勢で良いのか？お前が道を誤らないように！」と、きちんと教えて下さってあると思わせていただくのです。

少年少女会「節分」
豆まきスナッフ！



「少年少女会の豆まきは、目隠しして、たくさんひろんだよ！」

豆まきの紙芝居でした！

2月24日(日)

加治木教会

報徳祭

ならびに

矢野政美大人例年祭

二月九日(日)

梅の香薫る二月九日(日)加治木教会では報徳祭が仕えられました。

前日から、準備の御用が進められました。

また、報徳祭に引き続き前教会長矢野政美大人の例年祭が仕えられました。祭典後の講話は、多良木教会長梅木博光先生でした。

講話では「難はみかげとのみ教えのように、病気は難儀ではあるが、病気によって家族の信心のお育てをいただいている」というご体験をお話になりました。また、自治会で高齢の皆さんに教えてある健康体操を楽しく披露して下さいました。



多良木教会長
梅木博光先生



信徒総代



少年少女会



活け花の御用



お直会の調理



信徒会



婦人会



2Fホールの掃除



お直会の調理

2月9日 玉串奉奠

2月8日 御用奉仕(準備)

甘木親教会 布教記念祭奉祝

バレーボール大会 5/4(祝)

(9人制、体育館にて)

※お昼ご飯は支給されます。

に参加しませんか?!

交通機関：乗用車乗り合わせで、



人吉教会・宮之城教会・多良木教会ほか合同して「南九州連合チーム」で参加します!

バレーボールができない方も、応援部隊で参加してみませんか?

「難はみかけ」

一 起きてくる事柄を通して

名城教会 青木トミ子

長男が多発性骨髄腫に...

宮川花子さんと同じ難病
命を助かり、家族信心に

青木トミ子氏の、名城教会での感話発表の原稿を何回かに分けて掲載させていただきます。

【青木家の信心の始まり】

青木トミ子さんの旧姓は向江で加治木教会の故政美親先生ご布教昭和二十六年の当初に両親がご神縁を蒙り、農作業の上に、家族の医者も見放す病気の上におかけを蒙られ、家族で手厚い熱心な信心を進められました。のちに仕事を求め、家族で愛知県に移られました。現在は、愛知県愛西市に夫の宗一さんと二人暮らしです。

【ごまでのお話の要旨】

トミ子さんご夫妻は、実姉 故向江ナツ工先生が御用しておられた、佐屋教会（加治木教会から愛知県で布教開始された）が平成十八年に閉鎖され、参拝する教会がなくなりました。

平成二十年から、河合利男先生が御用される名城教会に、参拝できるようになりました。河合先生は、高齢の向江先生を記念祭の時など親しくお世話して下さいました。

再び御本部に御礼参拝できるようになり、自宅で信心集会（年三回、内一回は感謝祭）を近所の人たちと呼びかけ開くうちにトランプルが生じたものの、河合先生にお取次ぎを頂く中に、返って二人の息子たち家族へ感謝祭参拝を呼びかけ、信心の継承の糸口となりました。

◆次男に信心の転機「超未熟児」◆ 大府愛知県に住む次男も、教会へ参



青木トミ子氏 青木宗一氏

が、新築してからは、あまり人目につかない所に祀ってあるのが私はずっと気がかりでした。

拜させて頂くようになって、結婚・長男の誕生・家も新築させて頂き、順調におかげを頂いておりましたが、段々とお取次もお参りも「あいだ」が空くようになり、神様は祀ってあります

次男の嫁が二人目を妊娠して七ヶ月目で「破水」してお腹の羊水がなくなつて入院、いろいろと治療を施して頂きましたが五日目に超未熟児五四グラムで生まれてきました。その出産の日が丁度御本部布教功労者報徳祭の日で、先生は早速金光様にお取次を頂いて下さるとともに、折角授かった命だから死なすわけにはいかないと行って下さって、日々御祈念下さいました。息子も毎日のように電話でお取次を頂いていたそう

です。保育器の中で半年間、何力所も色々な手術をして頂きましたが、金光様や教会長先生を始め教会家族の方々のお祈り添えを頂き半年で退院することが出来ました。病院の先生方は、「赤ちゃんが小さい身体でよく頑張ってくれましたね、奇蹟だね」と言って下さいました。その子も今年四月から小学校へ入学、お兄ちゃんと毎日元気に歩いて学校へ通っております。また、平成二十七年十一月には女の子を授かり親子五人で日々おかけを頂いております。

◆御本部参拝中の怪我、大難を小難に◆
名城教会へお引き寄せを頂いて八年度、今年（平成三十一年）も一月九日十日と初月例祭に若先生の運転する車で参拝させて頂きました。

宿泊施設から「お出まし・御祈念・お届け」と毎年の如く自分達でさせて頂き、金光様は大きな声で「ようお参りでした」とお言葉を頂き、御本部初月例祭にも参拝が出来て、おかけを沢山頂いたと喜んで帰路につきました。

午後二時頃、竜野西サービスイリアで車から降りて歩いている間に突然転んでしまい、先生方に起こして頂いたのですが立つことも出来なくなりました。奥様が直ぐに教会へ電話をして

お取次を頂き、御本宅で頂いた御神酒を付けて温布して下さいました。

帰りに神戸の六甲教会へ年賀参拝する予定でしたから、六甲教会に電話を掛けて下さり、休日でもやっている整形外科を調べて頂き予約をして頂きました。病院へ着いて検査をして頂いた結果、左手首陥没骨折、外にも怪しいところがあると言われましたが、入院はしなくなかったので、レントゲン写真や診断書等を頂き、帰ったら直ぐに整形外科病院に行って検査して下さいと言われました。

その後、六甲教会に御礼参拝をさせて頂きました。私は車の中から遙拝をさせて頂きました。帰り際に先生ご夫妻がお見送り下さり、同乗の方にも心配をおかけし、帰りが遅くなりましたが、午後十時頃無事愛西市の自宅に帰らせて頂きました。

翌十一日、十二日は日曜祭日で病院が休みでしたから、お取次を頂いて十三日に近くの整形外科で検査したところ、股関節にひびが入って骨が欠けているけど手術の必要はないとのこと、翌十四日から津島リハビリテーションに入院しました。退院は早くても二ヶ月後と言われましたが、金光様や教会長先生ご家族の皆様、信者の方々、六甲教会長先生ご夫妻、近所の方々など沢山の人の

祈り添えを頂き、神様に助けて頂きました。予定より半月早く退院のおかげを頂き、間近に控えていた三月の愛西集会も日程を変更することなく仕えさせて頂きました。

今振り返って見ても、御本部参拝させて頂いたので大難は小難にお祭り替え下さったと思います。もしも転んだところに車が来たら今頃どうなっていたかわかりません。



昭和57年 佐屋教会布教10年記念祭、前列は加治木から、政美親先生のお供で参拝の皆さん
中央黒衣装が、トミ子氏の実姉 故向江ナツエ先生

◆目の手術をとおし、信心の稽古◆
昨年五月、いつも通っている眼科へ行

ったら、名古屋にある「杉田眼科」で検査を受けるようにと言われ、検査に行かせて頂いた結果、悪いところが沢山見つかりました。

両目の白内障と、以前の緑内障が原因か、角膜の癒着が見つかり、それぞれ手術をさせて頂くこととなり、六月八日「左目白内障」六月二十七日「右目白内障」七月九日に「左目角膜移植」の手術をさせて頂きました。

杉田眼科でも「難しい手術だけど、頑張ります」と言っていました。

角膜は、日本人の物だといつになるかわかりません。外国人の方の物ならお金は掛かるが直ぐに用意できることでした。眼科の先生は、早い方が良いけどねと言われ、主人と相談して、お取次を頂いて、アメリカの方の角膜を頂くことになったのですが、お金の方も前もっておかけを頂いておりましたので、心配なく手術をして頂くことが出来ました。

角膜の手術が終わって病室で休んでいた時、名城教会先代親先生の夢を見ました。その夢は、病室に来客用の椅子があるのに、フロアーに正座をして、「何を取りに来た」とは言われませんでした。が、「八時までいる」からと言われ座っておられました。私は親先生の顔を見た

こともないし、話したこともないのに、助けに来て下さいました。ご霊神様方が祈って下さっていることがよくわかりました。

二ヶ月毎に検査してもらっています。最初の頃は、検査が終わると直ぐに家に帰っておりましたが、教祖様の「祈れ薬れにすればおかげも早い、薬れ祈れにするからおかげならぬ」とのみ教えを思い出し、半年前からは、検査が終わったら、直接家に帰らず、教会へお礼参拝と目薬をお供え頂き、御祈念して頂き、お下りの目薬を頂いてつけさせていただくようになりました。その後、病院へ行くと、主治医の先生から、「青木さん、この目薬が合うようになりましたね」と言われるようになり、今では三ヶ月に一回になって、安心して御本部の「立教百六十年生神金光大神大祭」参拝させて頂いたことが出来ました。

毎年一月九日・十日の御本部初月例祭の参拝も、今年で十二年続けて参拝のおかげを頂いております。心より感謝しております。参拝の費用も一度に主人と二人分出すと大変ですが、毎月主人の分と二人分少しずつ貯めさせて頂いており、お金のことは心配することなく喜んでお参りさせて頂いております。(つひ)

育児について...

「口唇期」って何？

赤ちゃんが、口で触って確かめる活動期のことです。一才半くらいまでの発達段階の時期を意味します。赤ちゃんがハイハイして、おもちゃや珍しい物を見つけると、必ず口に持って行って唇くちびる(や舌)したの感覚で、先ず判断しようとするのです。

おっぱいを吸うことで命をつなぐ、そのために神様から与えられた最も必要不可欠な尊い感覚なのです。

そのため、ハイハイを始めてから一才半くらいまでは、口に入れては危ない物などを赤ちゃんの行動範囲に置かないように気を付けなければなりません。

.....

『金光教教典』

山本定次郎の伝え

天地の親神様が、お守りくださることを一番早く知るには、夏、土用、暑さをしのぎて生きて家業ができる

が、その時自分の腹をおおえてみよ。腹は冷たい。このようにお守りください。また、冬の寒中に外の冷たい寒い時、天地の親神より体内へご陽気をお与えくださるので生きておられるぞ。四季に応じて昼夜の別なく、天地の親神様が息のさし引きまでお守りくださるのであるぞ。今月今日で一心に頼むがよい。

◆◆◆◆◆

人間の体の中には、生きるため、身体を守り育てるために、不思議な働きをたくさんたくさんお与え下さっております。当たり前と見過ごしてしまいますが、よく考えてみると、とても尊く畏敬をもって感謝して行くべきことでありましょう。



初午祭

初午祭(はつうまさい)は、霧島市(始良市の隣)の鹿兒島神宮で、初午の頃の日曜日(に仕えらるお祭です。初午祭では「鈴かけ馬踊り」という踊りがあり、馬に、鈴が連なる胸飾りや、花や錦で飾った鞍を付け、鐘、太鼓、三味線などの音楽に合わせて、馬に足踏みさせながら踊ります。例年二十万人以上の観光客が集まります。今年(二月十六日)でした。

地元有志が、馬に足踏みをして練習をさせ準備しますが、昔から加治木町の木田地区の馬が第一番目に踊る習わしとなっています。各集落から二十頭ほどがそろいます。

馬の後ろに、それぞれ数十名の踊り連が続き参道や周辺の街を練り歩きます。昔は農作物の豊穰を祈願し、今日では厄払い・商売繁盛を祈願します。

この日、鹿兒島神宮近くの人達は遠方からも帰郷し、厄年の人を中心に法被を着て馬踊りに参加します。夜には、厄年で久々に帰郷した仲間と同窓会が開かれもします。



写真提供:大重為映氏(美知子氏長男)…県内の多くの写真展で入選

あしあと

加治木教会行事記録

- 2月
- 1 (土) ●報徳月例祭 10時半
 - 4 (火) 甘木親教会初代立日
 - 8 (土) 御用奉仕
 - 9 (日) ●加治木教会 報徳祭 11時
 - 11 (祝) 多良木教会 報徳祭 11時
 - 12 (水) 矢野政美大人立日御折念 10時半
 - 龍笛練習 19時半
 - 17 (月) ●甘木親教会 報徳祭 11時
 - 龍笛練習 19時半
 - 18 (火) 甘木親教会「同釜会」
 - 龍笛練習 19時半
 - 21 (金) 清掃御用 10時半
 - 22 (土) ●月例祭・共励会 13時半
 - 23 (日) 西鹿兒島教会 報徳祭
 - 24 (祝) 少年少女会(節分) 10時半
 - 29 (土) 清掃御用 10時半

ご霊神様のおまじ

三月

- 川畑ツネ 之葬 (1日) 昭和44年
- 中野サ子 之葬 (1日) 平成13年
- 永原スミ子 之葬 (1日) 平成20年
- 有蘭トシ 之葬 (2日) 平成26年
- 内村源二 之葬 (3日) 平成5年
- 野口益三 之葬 (5日) 平成26年
- 信國幾雄 之葬 (6日) 昭和42年
- 大山定二 之葬 (7日) 昭和61年
- 荒木美至 之葬 (7日) 平成18年
- 本中野重則 之葬 (12日) 平成24年
- 矢野クラ 之葬 (13日) 昭和31年
- 松田モト 之葬 (15日) 昭和62年
- 信國徹志 之葬 (18日) 昭和52年
- 松田セイ 之葬 (20日) 昭和18年
- 前田広美 之葬 (21日) 昭和36年
- 瀬尾田鶴子 之葬 (22日) 平成30年
- 吉屋茂樹 之葬 (25日) 平成4年
- 津上陸奥 之葬 (29日) 昭和53年
- 本中野金四郎 之葬 (30日) 昭和4年
- 柳園ヨシ 之葬 平成25年

「先祖のご霊神様の、現世・幽冥(かくりよ)でのお働きあつての今日の私たちであります。立日の月には、故人を偲び、玉串を奉てんしてお礼を申し上げます。教会では、十日の月例祭で、霊前での玉串の奉てんを準備しています。」

三月十四日(土)・十五日(日)

午後二時より 午前十時より
鹿児島教会にて

典楽会講習会

琴・龍笛・笙・箏・筆・太鼓

三月二十日(祝) 午前十時半より

春季霊祭奉仕

※(祭典)春季霊祭・勸学祭後、
教話、茶話会

※霊祭申込用紙をお結界にお届け下さい。

三月二十八日(土)・二十九日(日)

天地金乃神祿 (教話) (祭典、二十九日九時半)

御本部御大祭参拝

出発：二十八日午前八時十分
帰着：二十九日午後九時
交通機関：レンタカー(ワゴン車)

四月一日(水)

月例祭に引き続き

勸学祭奉仕

健康な成長と学業成就の御礼と
お願いを申し上げます。

※参拝の少年少女にはお直会があります。

教会行事

3月

- 1 (日) ●報徳月例祭 10時半
 - 3 (火) ●甘木親教会参拝日参拝は未定
 - 9 (月) 清掃御用 10時
 - 10 (火) ●月例祭10時半
 - 13 (金) 矢野クラ刀自立日御折念 十時
 - 14 (土) 15 (日) 典楽講習会鹿児島教会
 - 19 (水) 清掃御用 10時
 - 20 (祝金) ●春季霊祭 10時半
 - 22 (日) ●月例祭・共励会13時半
 - 28 (土) 29 (日)
 - 御本部天地金乃神御大祭 参拝
 - 31 (火) 清掃御用 10時
- 〔未定行事〕青年会・若婦人会

四月十一日(土)・十二日(日)
出発：午前九時(十七時より開会)
甘木親教会

青年の集い

五月三十一日(日) (祭典 午前十一時)
加治木教会教会 ※前日御用奉仕
天地金乃神御大祭奉仕
祭典後、教話、直会

4月

- 1 (水) ●報徳月例祭・勸学祭 10時半
- 3 (金) 甘木親教会参拝日参拝は未定
- 甘木親教会 安武孝子媛四十五年祭
- 9 (木) 清掃御用 10時
- 10 (金) ●生神金光大神祿月例祭 10時半
- 11 (土) 12 (日) 甘木親教会青年の集い
- 12 (日) 人吉教会 御大祭 11時
- 15 (水) 連合会執行部会十時半、加治木教会
- 19 (日) 都城教会 御大祭教会長、教話御用
- 21 (火) 清掃御用 10時
- 22 (水) ●月例祭・共励会 13時半
- 25 (土) 甘木親教会 御大祭
- 30 (火) 清掃御用 10時
- ※少年少女会 (昨年は仙臺の里温泉で野外調理でした！)

※募金は教会の支援金箱にどうぞ

でを

台風15号・19号はじめ、各地で発生した豪雨・豪風、各地地震・火災・伝染性疾患等も甚しく被災された方々の一日も早い復興、安心、立ち上がりお祈りさせていただきます。

那覇市、首里城火災の再建義捐金へも協力させていただきます。

鹿児島地方教会連合会
「社会活動支援金」の
振込先は「ゆうちょ銀行」
<記号> 17820
<番号> 19085871
<名義> 金光教鹿児島災害対策室 代表 矢野章

